

沖縄県知事
仲井眞 弘多 殿

2013年12月25日
全国保険医団体連合会
会長 住江憲勇

**辺野古への米軍新基地建設に最後まで反対し、
埋め立て申請の不承認を求めます**

拝啓

貴職におかれましては連日のご奮闘に敬意を表します。

本会は全国の医師・歯科医師10万人で構成する団体で、「人命を守る医師はいかなる戦争をも容認できない」との『開業医宣言』に基づき行動しております。

本日午後、貴職は安倍首相と懇談し、沖縄県名護市辺野古の国の埋め立て申請に対して意見表明をされると報道されています。貴職におかれましては、沖縄県民の総意を代表して最後まで辺野古への米軍新基地建設反対の立場を貫かれるよう要望いたします。

その理由は第1に、沖縄県民の大多数は米軍の新基地を辺野古へ建設することに反対しているからです。「普天間基地を返還する」との口実で辺野古に新型・大型の米軍基地の建設を許せば、沖縄は今後、半永久的に米軍基地を抱えたままとなります。これは過去、米軍によってもたらされた苦しみに耐えてきた県民の気持ちを踏みにじることになり、また今後新しく生まれてくる沖縄の子ども達にこの苦しみを押しつけることにつながってしまうからです。

第2に沖縄の米軍は日本を守るために存在しているわけではありません。過去にはベトナム戦争への出撃基地に沖縄は利用され、最近ではイラク戦争への米軍の出撃基地となってきました。辺野古への新基地建設は東アジアの平和に貢献するどころか、逆にアジア全域の平和の不安定化をもたらすことになってしまいます。

本会は、沖縄県民および日本国民の総意を受けて貴職が最後まで米軍新基地建設反対の立場を堅持されるよう切に要望いたします。

敬具